

トップ コミットメント	サステナビリティ 推進体制	JFRの マテリアリティ	低炭素社会への 貢献	サプライチェーン 全体のマネジメント	地域社会との 共生	ダイバーシティ の推進	ワーク・ライフ・ バランスの実現	事業会社の ESGの取り組み	社外取締役 メッセージ	ガバナンス	データ集
----------------	------------------	-----------------	---------------	-----------------------	--------------	----------------	---------------------	-------------------	----------------	-------	------

→ Scope1・2温室効果ガス SBT認定取得・TCFD提言賛同 JFR環境マネジメント体制の構築に向けて 温室効果ガス削減取り組み策 ESGモデル店舗

低炭素社会への 貢献

JFRグループは
全てのステークホルダーとともに
気候変動への対応に取り組み
温室効果ガスの削減に
貢献していきます。



大丸心齋橋店本館 (ESGモデル店舗) の環境の取り組み



トップ コミットメント	サステナビリティ 推進体制	JFRの マテリアリティ	低炭素社会への 貢献	サプライチェーン 全体のマネジメント	地域社会との 共生	ダイバーシティ の推進	ワーク・ライフ・ バランスの実現	事業会社の ESGの取り組み	社外取締役 メッセージ	ガバナンス	データ集
----------------	------------------	-----------------	---------------	-----------------------	--------------	----------------	---------------------	-------------------	----------------	-------	------

→ Scope1・2温室効果ガス SBT認定取得・TCFD提言賛同 JFR環境マネジメント体制の構築に向けて 温室効果ガス削減取り組み策 ESGモデル店舗

低炭素社会への 貢献

背景

現在、世界では気候変動をはじめとする環境問題が深刻化し、日本国内でも異常気象による大規模な自然災害が多発するなど大きな影響をもたらしています。今や、気候変動は企業にとって看過できない状況となっています。

考え方

JFRグループは、5つのマテリアリティのうち、「低炭素社会への貢献」を最重要課題と位置づけています。地球温暖化への対応に全社一丸で戦略的に取り組み、ステークホルダーからの信頼を高めるとともに、社会課題の解決を通じた新たな事業機会を創出することにつなげていきます。当社グループは、地球温暖化への対応を全てのステークホルダーとともに解決していくことで、低炭素社会の実現に貢献します。



取り組みの 概要

当社グループは、地球温暖化の要因の一つである温室効果ガス排出量の削減に向けて、長期目標を策定し、2019年10月、SBTに認定されました。SBT達成に向けて、事業活動を通じた取り組みを進めていきます。

- Scope1・2温室効果ガス排出量削減に向けた取り組み
- SBTイニシアチブの認定取得
- 環境マネジメント体制の構築に向けて
- ESGモデル店舗としての「大丸心齋橋店本館」「渋谷パルコ」

体制

📄 ⇒ サステナビリティ委員会

方針

📄 ⇒ エコビジョン
⇒ JFR行動方針